

2027年3月期 第1四半期決算概要

- 売上高は円安のさらなる進行や自動車用ガラス事業の改善により増加。
営業利益は建築用ガラス事業と高機能ガラス事業の改善により前年同期を上回る
- 2027年3月期の業績予想は不変。引き続き営業利益360億円の水準を目指す。
エネルギーコストの上昇等、厳しい事業環境が継続するが、価格転嫁により吸収
- 新生NSGグループに向けた抜本的施策は順調に進展。
6月26日の株主総会にて承認取得済。現在は関連当局の許認可取得を含む前提条件の充足に向け対応中

1. 2027年3月期 第1四半期決算

- 売上高は2,463億円（前年同期比+361億円、+17.2%）、営業利益は88億円（同+20億円、+28.5%）と増収増益。売上高は円安のさらなる進行と自動車用ガラス事業における現地通貨ベースでの増収により増加。営業利益は太陽電池パネル用ガラスの販売数量が増加した建築用ガラス事業と、高機能ガラス事業の改善により増加
- 個別開示項目（純額）は6億円の費用（前年同期は17億円の収益）
- 金融費用（純額）は76億円と前年同期の68億円から8億円増加。
持分法による投資利益は13億円と前年同期と同水準
- 法人所得税は通期の見積実効税率に基づき計算し、18億円（前年同期は23億円）。
これにより当期利益は1億円（前年同期比△3億円）、純利益*は2億円（同+3億円）
- フリー・キャッシュ・フローは、運転資本の季節的な変動に伴い282億円のマイナス（同△17億円）。
自己資本比率は13.4%（前期末比△0.1pt）と前期末と同水準。
有利子負債は5,720億円（同+237億円）

<損益計算書および財務指標>

(億円)	4-6月期（3か月）		
	2026年 3月期	2027年 3月期	差異
売上高	2,102	2,463	361
営業利益	69	88	20
営業利益率	3.3%	3.6%	+0.3pt
個別開示項目（純額）	17	△ 6	△ 23
個別開示項目後営業利益	85	82	△ 3
金融費用（純額）	△ 68	△ 76	△ 8
持分法による投資利益	13	13	△ 1
持分法投資に関するその他の利益 （△損失）	△ 4	-	4
税引前利益	27	19	△ 9
当期利益	5	1	△ 3
純利益（△損失）*	△ 2	2	3
EBITDA	198	234	36
フリー・キャッシュ・フロー	△ 264	△ 282	△ 17

*親会社の所有者に帰属する四半期利益（△損失）

(億円)	2026年 3月末	2026年 6月末	増減
総資産	11,175	11,241	66
親会社の所有者に帰属する持分	1,512	1,509	△ 3
自己資本比率	13.5%	13.4%	△ 0.1pt
有利子負債	5,483	5,720	237

<各事業の概況>

建築用ガラス事業	売上高および営業利益は、欧州において販売価格が改善したため増加。太陽電池パネル用ガラスの販売数量の回復も寄与。太陽電池パネル用ガラスの需要は、アジアでは米国関税政策等を踏まえた取引先の生産調整の影響が継続するが、改善傾向。米国では前年同期比で販売数量が増加
自動車用ガラス事業	売上高は増加したが営業利益は減少。欧州で販売構成が改善し、日本や米州で販売価格が改善したため増収だが、北米の新車用ガラス事業の生産効率低下が継続し減益
高機能ガラス事業	販売価格および販売数量/構成が改善し、前年同期比で増収増益

(億円)	2026年3月期	2027年3月期	前年同期比
	4-6月期	4-6月期	
売上高			
建築用ガラス事業	892	1,008	116
自動車用ガラス事業	1,098	1,327	229
高機能ガラス事業	110	126	15
その他	1	2	1
売上高合計	2,102	2,463	361
営業利益			
建築用ガラス事業	67	87	20
自動車用ガラス事業	24	12	△ 12
高機能ガラス事業	13	22	9
その他	△ 34	△ 32	2
営業利益合計	69	88	20

2. 2027年3月期 業績予想

- 業績予想は変更なし。引き続き営業利益 360 億円の水準を目指す。
原燃材料価格の上昇等、厳しい事業環境が継続するが、価格転嫁により吸収
- 足元では円安が進行しているが為替レート見通しは変更せず、主要通貨に対して前年度に比較し円高を想定
- 地政学リスクもありエネルギー価格や原材料価格は上昇し、インフレによる人件費等その他コスト増加も継続するが、価格転嫁により吸収を図る

<業績予想>

(億円)	2026年3月期 実績		2027年3月期 予想		差異	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	4,208	8,795	4,400	8,800	192	5
営業利益	120	288	165	360	45	72
個別開示項目 (純額)	△ 6	△ 55	△ 15	△ 15	△ 9	40
個別開示項目後営業利益	114	233	150	345	36	112
金融費用 (純額)	△ 135	△ 283	△ 145	△ 295	△ 10	△ 12
持分法による投資利益**	25	53	30	55	5	2
税引前利益 (△損失)	4	4	35	105	31	101
当期利益 (△損失)	△ 34	55	5	40	39	△ 15
純利益 (△損失)*	△ 42	44	0	30	42	△ 14

注) 本業績予想は現状における前提に基づくものです。
後述の通り、当社は新生 NSG グループに向けた抜本的な施策の実施を開示しており、その成立の場合には状況により修正される可能性があります。

*親会社の所有者に帰属する四半期利益 (△損失)
**持分法投資に関するその他の利益 (△損失) を含む

3. 新生 NSG グループに向けた抜本的施策の進捗状況

新生NSGグループに向けた抜本的施策の進捗状況



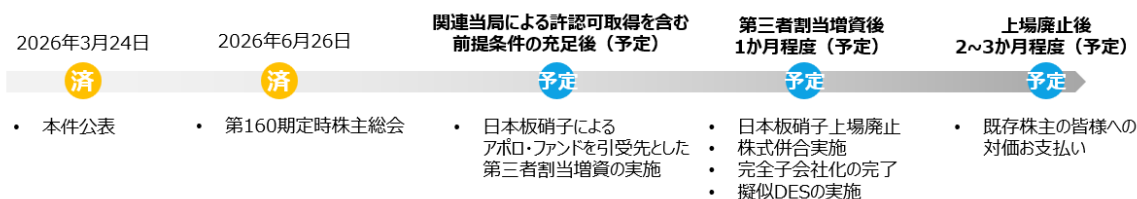
本件実行のための株主賛同を株主総会にて取得済み。

関連当局による許認可の取得を含む前提条件の充足に向け順調に進捗中

1. 進捗状況

- (1) 定時株主総会において本件に必要な以下の株主決議を取得済み
 - ・ 定款一部変更 - 発行可能株式総数の変更
 - ・ 株式併合の実施
 - ・ 定款一部変更 - 単元株式数の定め廃止等
- (2) 施策の実施に必要な関連当局による許認可の取得を含む前提条件の充足に向けて順調に進捗中

2. タイムライン（今後の予定は確定次第、別途開示を予定）



<お問い合わせ> （報道関係等）広報部（お問合せページ） <https://www.nsg.co.jp/ja-jp/contact-us>